

# 2議席で 平和・暮らしの願い届く市政へ



ほりうち あきよ  
**堀内昭世**

埴生ニュータウン在住

## 研究開発一筋の 工業技術者

私は1943年(昭和18年)、小矢部市胡麻島で生まれました。父がフィリピンで戦死したため、長く母、兄と3人で暮らしました。東北大学大学院を卒業後、大手企業を皮切りに工業技術者として、研究開発ひとすじの人生を歩んできました。58歳の時には、工学博士の資格も取得しました。現在、矢水町で従業員5人の会社を経営しています。

大学院時代から日本の原子力技術に信頼を寄せてきましたが、2011年の福島第1原発事故に大きなショックを受けました。原発の危険性をずっと主張してきた「しんぶん赤旗」を読んで、まだ未熟な技術なのに政治が介入しウソとごまかしで原発政策が強引に推進されたことを知りました。原発反対デモにも参加。日本共産党の考え方に共感し、事故の翌年に入党しました。



2015年 戦争法反対のスタンディング(石動駅前)

近頃の安倍政権の目に余るウソ、ごまかし、隠ぺい、改ざん等、憲法を踏みにじり民主主義の土台を否定する強権政治。私は多くの市民の「これは絶対許せない、倒すしかない」との思いを共有します。小矢部市から厳しい審判を下し、早く退陣させましょう。

私は現在、猫一匹相手の一人暮らしです。小矢部市でも一人暮らしの人が増えてきています。一人暮らしは不便で寂しい上に、悩みもあると思います。そうした人々の声を市政に届け、一人暮らしの人の暮らしやすいまちづくりを尽くしたいと思っています。

## 福島原発事故に ショック

「ウソとごまかし、とんでもない」と  
共産党に

## 堀内昭世の願い

砂田市議と  
力をあわせて  
9条まもり、  
憲法を生かす  
政治に

一人暮らしの  
人たちが  
暮らしやすい市政に

日本共産党小矢部市委員会は4月26日、現職の砂田喜昭市議(七社)に加えて、新人の堀内昭世氏(埴生)を擁立し、2議席をめざす(二入)を発表しました。

### 略歴

- ・1956年 (S31)水島小卒
- ・1959年 (S34)津沢中卒
- ・1962年 (S37)福野高卒
- ・1966年 (S41)金沢大工学部卒
- ・1968年 (S43) 東北大学大学院工学研究科精密工学専攻修士課程修了
- ・1968年 (S43)～1997年 (H9)9月 住友重機械工業(株)勤務  
1976年 HEDCON 鼓形ウォーム減速機 開発 <日本機械学会賞受賞>
- ・1997年 (H9)11月～2007年 (H19)5月 (株)新栄製作所取締役  
1999年 Hi CRA 鼓形ウォーム減速機 開発 <石川県知事賞受賞>
- ・2000年 (H12) 工学博士号取得
- ・2001年 (H13)9月～ (株)シンエーテック代表取締役社長  
2002年 角度伝達誤差測定機 開発 <石川ブランド優秀新製品認定>  
2016年 発酵竹粉『たけこな物語』開発

堀内昭世のフェイスブック

日本共産党小矢部市委員会政策委員長



【趣味】囲碁・卓球・登山・水泳  
【住所】小矢部市埴生2067-4

2018年5・6月号外  
発行:日本共産党小矢部市委員会  
小矢部市七社245 ☎67-4322

日本共産党小矢部市委員会の見解を紹介します。

## 1日8時間働けば、普通に暮らせる社会に

### 会社経営で実践

私は、堀内昭世氏が代表取締役を務める(株)シンエーテックの社員の長谷川と申します。

ここに勤める前はIT企業で働いていました。当時は日々仕事への強迫を感じながらも、仕事の為、会社の為と、私生活を犠牲にしてもあたり前と考えていました。ただ、それは長く続かず、最終的には心身を壊して退職してしまいました。

シンエーテックでは、社員の私生活を充実させることが大事との堀内社長のもと、1日8時間で仕事を切り上げています。もちろん、たまには残業せざるえない場合もありますが、労働時間を縛るのでなく、私生活を大切にという考えが、何よりも精神的な安心感を与えてくれます。

現在は私生活を取り戻す事ができ、まさに自分のための人生を歩んでいると感じています。すこし大袈裟かもしれませんが、組織ではなく個人を優先する考え方は、まさに民主主義と言えるのではないのでしょうか。

昨今、ブラック企業という劣悪な労働環境の企業がとどろぎだされていますが、これは経営陣が組織の利益を最優先とした結果に他なりません。

堀内昭世氏にはシンエーテックでの実績を基に、「働き良い小矢部」を実現する担い手となることを期待致します。

社員からエール!